

## 福祉・介護分野での外国人労働力の育成と活用 —技能実習生を中心として—

磯野 博 氏 (日本医療総合研究所協力研究員)

奈良 修三 氏 (千寿の園)

### ●介護人材育成と外国人労働者問題：磯野博

団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年に必要な介護職員、約253万人に対して供給見込は約215万人と推計されており、充足率は85.1%であり、37.7万人不足する。

静岡県における中国視察団の要望は、①中国において介護人材を育成する養成校へ講師を派遣して欲しい。②介護職員養成校に中国からの留学生を受け入れ、卒業後2～3年の実務経験を経た後に帰国させ、介護の即戦力になるよう養成して欲しい。

中国との介護人材育成協力に向けた交流から求められているのは、「育成型」、「還流移動型」という外国人労働者の受け入れである。

### ●白翁会の取り組み：奈良修三

#### 1 技能実習生導入の意図

介護人員不足は当法人だけでなく、全国的な課題であるが、特に本法人は菊川市という人口48,000人弱の西部地域としては東のはずれにあり、人口数そのものが少なく介護人材の確保には困窮している。更に本法人では2021年度に向け、老朽施設を解体し他のユニット型施設に合併させることを計画しており、介護人材を増数させる必要に迫られている。

2 技能実習生は技術移転に伴う他国への貢献事業か？

法人にとっては、「人手」であり、3年、5年であっても継続して就労(実習)できる人材を確保したい。

#### 3 技能実習生導入の経過

実習生の面接：2018年11月5日～8日

場所：ベトナム社会主義共和国 ハノイ

参加：理事長・障害者支援施設長・特別養護老人ホーム施設長補佐

同行：東海経営情報共同組合(監理団体)

##### 1) 送り出し機関の概要

①送り出し機関：A. B. Sベトナム株式会社

②技能実習生送り出し実績(2018.8)：968人

※介護の送り出しは初めての取り組みである

##### 2) 面接報告

①面接人数－10名(女性)18～32歳

②受入決定人数－4名(全員女性)

#### 4 施設側の受け入れにあたっての課題

1) 最大は日本語教育、コミュニケーションをどうつけさせていくかが課題。

①「やさしい日本語」の冊子の配布。

②国際交流協会での日本語教室への参加。

③監理団体派遣通訳の雇用

##### 2) 介護研修

①技能実習責任者講習へ1施設2名派遣

②現場での現場職員による指導

③静岡福祉医療専門学校初任者研修への派遣

##### 3) 生活指導

①技能実習生活指導員講習への派遣

②監理団体のサポート

\*連絡先：静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川2-2-1 セキスイハイムビルディング7F(静岡県評内)

メール [roudouadv@wave.wbs.ne.jp](mailto:roudouadv@wave.wbs.ne.jp) ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>